

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TODAY児童デイサービス白金2号館		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童が安全で楽しく過ごすことが出来る環境づくり	・情報共有ツールを使用してその日に居なかった職員とも情報共有をしている。	・職員間で療育方法や療育グッズの使い方等の検討会議を行い児童により良い療育提供をするようにする。
2	・各学年の人数がまとまっていることから同学年同士の仲が良い事。また、違う学年との交流もあり、施設を利用する児童全体でコミュニケーションが多くとれていること。	・レクリエーションや工作を行う際に児童全体で行い、学年に関係なく協力や応援をしてコミュニケーションをみんなで取るようにしている。	・児童全員で作る工作を行い児童同士のコミュニケーションをより取れるようにする。 ・児童が協力して作るクッキングのイベントを多くする。
3	・TODAY白金が近くにあることから協力しながら営業ができる。	・施設の近くにTODAY白金がある事から行事などのイベントの際はお互いの施設同士で協力をしながら行える。(ハロウィンイベントやクリスマスイベント等)	・季節のイベントだけでなく合同で行うイベントを多くする。 (リモートでの交流や合同レクリエーション活動)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設のフロアが狭く、クールダウンなどが取りづらい。	・児童の人数に対して施設のフロア面積が狭い。	・児童の人数などを考慮し、少ない際はフロアの端でパーテーションを使用する。児童が多い際は相談室等を使用して児童のクールダウンを行う。
2	・他の事業所や地域の子ども達との交流機会がない。	・コロナが流行してから他の事業所や子ども達との交流が無くなってしまった。	・他の施設と連絡をとり、地域のイベント等に参加する。 また、対面での交流が出来ない場合はzoom等を利用し、リモートでの交流をする。
3	・児童を連れて外出が少ない。	・コロナ禍を経たことで、リスクを考慮して外出の機会が減っていた。	・比較的安全で近くの公園などから練習をし、徐々に児童と職員の外出の感覚を慣れさせていく。 ・外出の頻度を上げていく。